

報道資料

令和3年10月17日(日)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:増井・尾上
 報道機関専用電話:0742-27-8722(ダイヤルイン)内線:3132、3220
 一般相談電話:0742-27-8561
 福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:安川・大西
 電話:0742-27-8935(ダイヤルイン)内線:3109、3110
 総務部知事公室 防災統括室 担当:中野・小原
 電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270、2285

新型コロナウイルス感染者の状況について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者3例(県内感染者15818~15820例目、うち奈良市発表事例1例)発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実に行ってまいります。

- ・他府県発表との重複 : 487 例 (前日比+0)
- ・感染者数累計除外分 : 202 例 (前日比+0)
- ・死亡 : 149 例 (前日比+0) ・再陽性 : 9 例 (前日比+0)

1)入院病床及び宿泊療養室等の状況(午前9時時点)

※担当:地域医療連携課

重症対応病床	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
運用病床	32	2	±0	30	6%
確保病床	34	2	±0	32	6%

病院別内訳	確保病床数 (床)	運用病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
奈良県立医科大学 附属病院	14	12	2	±0	10	17%
奈良県総合 医療センター	6	6	0	±0	6	0%
民間病院 F	6	6	0	±0	6	0%
南奈良総合 医療センター	2	2	0	±0	2	0%
奈良県西和 医療センター	2	2	0	±0	2	0%
市立奈良病院	2	2	0	±0	2	0%
大和高田市立病院	2	2	0	±0	2	0%
計	34	32	2	±0	30	6%

入院病床	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
運用病床	418	37	-4	381	9%
確保病床	469	37	-4	432	8%

※ 重症対応病床を含む

病院別内訳	確保病床数 (床)	運用病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
奈良県立医科大学 附属病院	80	57	4	±0	53	7%
奈良県総合 医療センター	74	46	0	-1	46	0%
南奈良総合 医療センター	44	44	1	±0	43	2%
奈良県西和 医療センター	37	37	3	±0	34	8%
市立奈良病院	34	34	3	-2	31	9%
(独)国立病院機構 奈良医療センター	34	34	1	-1	33	3%
生駒市立病院	20	20	4	±0	16	20%
済生会中和病院	15	15	0	±0	15	0%
民間病院 A	15	15	3	±0	12	20%
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	14	14	3	±0	11	21%
大和高田市立病院	12	12	1	±0	11	8%
民間病院 B	12	12	1	±0	11	8%
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	11	11	0	±0	11	0%
国保中央病院	9	9	0	±0	9	0%
民間病院 C	8	8	4	±0	4	50%
民間病院 D	7	7	3	-1	4	43%
済生会奈良病院	6	6	1	±0	5	17%
民間病院 E	6	6	1	±0	5	17%
民間病院 F	6	6	0	±0	6	0%
宇陀市立病院	6	6	2	+1	4	33%
民間病院 G	5	5	1	±0	4	20%
民間病院 H	5	5	0	±0	5	0%
民間病院 I	3	3	0	±0	3	0%
民間病院 J	2	2	0	±0	2	0%
民間病院 K	2	2	0	±0	2	0%
済生会御所病院	2	2	1	±0	1	50%
計	469	418	37	-4	381	9%

※重症対応病床を含む

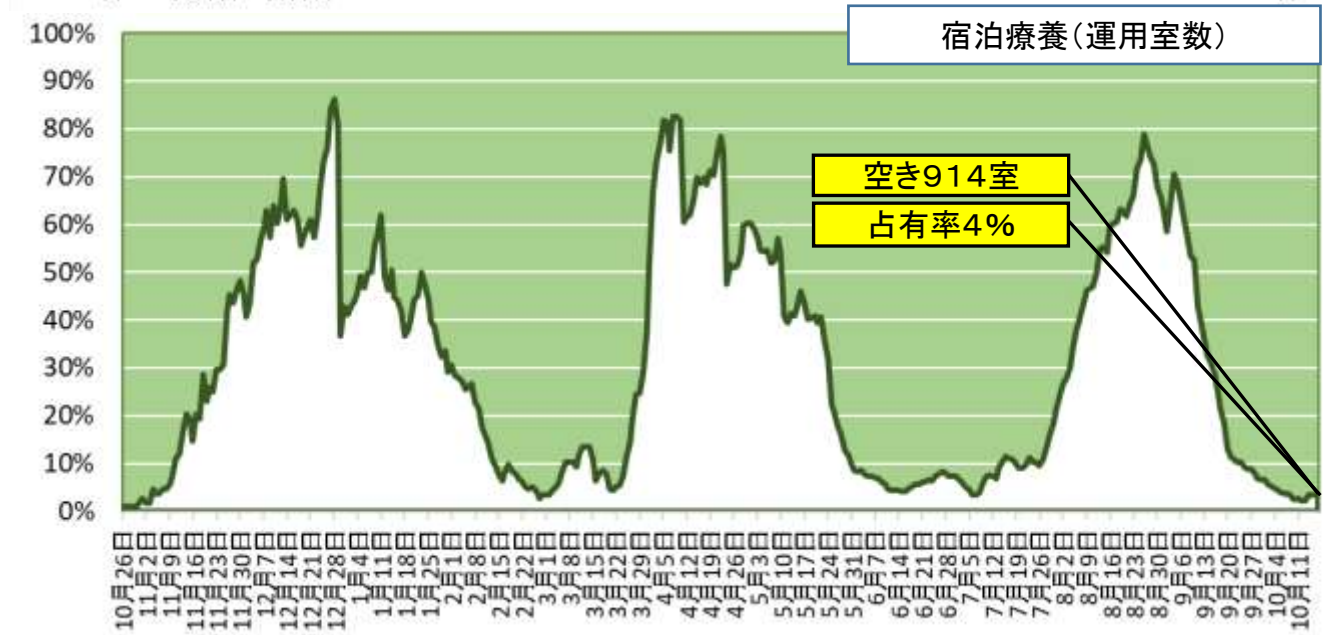
宿泊療養	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
運用室数	948	34	+2	914	4%
確保室数	954	34	+2	920	4%

※ 運用室数と確保室数の差は、設備のメンテナンスによるものです

運用室数 施設別内訳	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
東横INN 奈良新大宮駅前	113	2	±0	111	2%
(旧)ホテルフジタ奈良	86	1	±0	85	1%
ビジネスホテル大御門	53	0	±0	53	0%
グランヴィリオホテル奈良 —和蔵—	166	13	±0	153	8%
スマイルホテル奈良	148	6	+3	142	4%
奈良ワシントンホテル プラザ	145	2	-1	143	1%
スーパーホテル 奈良・大和郡山	81	2	-1	79	2%
ホテルルートイン 桜井駅前	156	8	+1	148	5%
計	948	34	+2	914	4%

社会福祉施設等 療養	療養者数 (名)	対前日 (名)
—	—	—

参考 占有率の状況



2)感染者数の状況(午前9時時点)

10/17に新たに判明した感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	3	0	0	3

10/17現在の感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	99	2	18	79
対前日(名)	±0	±0	+1	-1

10/17現在の感染者数累計	治癒	死亡 (※2)	入院・療養中 (※1)	入院・入所待機中、 自宅療養中	現在感染者数 F (=A-B-C) (=D+E)	
A	B	C	D	E		
人数(名)	15,820	15,572	149	72	27	99
対前日(名)	+3	+3	±0	-1	+1	±0

(※1) 宿泊療養では複数名が1室に入室することがあるため、使用病床数及び入所室数等の合計と一致しない場合があります
また、社会福祉施設等療養を含みます

(※2) 直接の死因が新型コロナウイルス感染症と認められなかった18例を含みます

※自宅療養者(3日を超えて自宅等におられる方) 12人(速報値)
うち入院・入所拒否者 12人(速報値)

※治癒者については、疾病対策課ホームページで定期的に掲載します

3) 感染者の概要

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
15819例目	50代	女性	生駒市	地方公務員 (大阪市内)	軽症	調査中
15820例目	30代	男性	広陵町	会社員 (県内)	軽症	調査中

4) 感染者数除外例の概要

なし

今後とも、迅速で正確な情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いいたします。また、関係先の撮影に際し、映像や画像により個人や事業者が特定されることのないよう、ご配慮をお願いします。

○県の対応・発熱等の相談について

- 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。
- 発熱等の症状のある方は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

身近な医療機関がない方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。
- 発熱等の症状がない場合でも、感染の不安のある方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。
- 奈良県における新型コロナウイルス感染症にかかる検査対象
 - ★ 症状の有無にかかわらず、感染リスクのある方
(下記は例示であり、必要に応じて検査対象となります。)
 - ・感染判明者との接触があった方、感染リスクのある場所に滞在された方(いずれも検査前2週間以内)
 - ・勤務先や通学先、自宅などに、発熱等の有症状者がおられる方
 - ・医療従事者、福祉施設従事者

■新型コロナ・発熱患者受診相談窓口(旧 帰国者・接触者相談センター)

相談窓口	電話番号	FAX番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

－ 不当な差別や偏見をなくしましょう －

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方々、濃厚接触者、医療従事者等やその家族、その属する施設・機関に対する不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをないように、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。

県民のみなさまへ

これまで最大の感染規模となった第5波は、県民のみなさまの感染防止対策へのご協力を得て、ようやく落ち着いてきました。

しかしながら、感染症のリスクはゼロにすることはできません。新型コロナウイルスとの戦いは、今後さらに長期間にわたる可能性があります。

県では「県民の命を守る」ことを最重点の目標とし、第6波に備えつつ、社会・経済活動と日常生活の維持との両立を図ることとしています。

これらのことから、みなさまにも感染リスクを下げる下記の取組を徹底していただき、感染防止への配慮を引き続きお願いいたします。

○往来について

- ・感染が拡大している地域への不要不急の往来は、極力控えてください
- ・混雑した場所への外出を極力控えてください

○仕事や事業所について

- ・休憩室や更衣室でも、マスクを着け、近距離・大声での会話を避ける

○友人等との交流について

- ・飲食はきちんと感染対策をしている店舗で。マスクを外した会話は控える
- ・多人数・長時間は避け、大声での会話はしない

○家庭内感染を防ぐために（症状が出てから）

- ・「空間的分離」。過ごす場所を分けましょう
- ・「時間的分離」。過ごす時間をずらしましょう
- ・同時に同じ場所にいるときは、お互いマスクをつけましょう
- ・手が触れる共有部分の消毒、手指衛生をしましょう
- ・部屋は、適宜窓をあけて換気しましょう
- ・衣服は洗濯、食器は洗浄しましょう。洗った後の手指衛生は忘れずに
- ・ゴミは密閉して捨てましょう

○感染症専門医からのメッセージ

- ・マスクを正しく着用し、換気、消毒、2m以上の距離を確保しましょう
- ・3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)を遮断しましょう
- ・ワクチンを接種しても、引き続き注意しましょう